

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 豊橋市立杉山小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-3302

愛知県豊橋市杉山町字御園9番地の4

E-mail sugiyama-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.sugiyama-e.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 187名 女子 161名 合計 348名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、環境への意識を高め、地域の「もの・ひと・こと」にかかわる活動を通して、子どもたちの身近な地域が好きになり、地域が好きになり、地域とかわることができるのではないかと考えている。

具体的には、地域と学校が協力して開催する行事や総合的な学習の時間・生活科の時間を柱に、①地域の環境や伝統文化、文化遺産に係わる活動、②地域社会に係わる学習、③防災に係わる学習を行った。

### ① 地域の環境や伝統文化、文化遺産に係わる活動

本校では、「グリーンウォーク」という地域と学校が協力して開催する行事がある。内容は、家族で校区内のさまざまなポイントをめぐって歩く。汐川干潟や豊橋名木100選のホルトの木、寺や神社、農園や牧場など、たくさんのポイントがあり、緑豊かな校区の歴史・文化・自然を感じ取りながら、活動している。ゴミ拾い活動も同時に行い、地域の環境にも目を向ける活動にもなっている。多くの地域の方が、ボランティアとして建物や史跡の説明や、ゴミの集積所でも分別を行っている。

## ② 地域社会に係わる学習

低学年は「地域のよさを理解していく時期」と考え、生活科の時間を中心に地域の方々の協力を得た活動を多く取り入れている。1年生では「昔遊び」を地域のお年寄りに教えてもらう会を行い、昔遊びの興味を高めるとともに、地域の方との交流を深めた。2年生では、地域の農業ボランティアの方に協力していただき、さつまいもや大根の栽培・収穫・調理を行った。

## ③ 防災に係わる学習

過去の杉山校区の災害について調べたり、校区の人に話を聞いたりした。そして、災害はいつ起こるかわからないので、自分たちで今できることがないか考え、活動した。地域の消防団の話を聞き、夏休みには消防団の詰め所のシャッターアートに取り組み、地域へ奉仕する気持ちを高めたり、防災についての意識を高めたりした。



① グリーンウォーク



② 1年生「昔遊びの会」



③ 2年「大根の収穫」



④ シャッターアート

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

■ 1. 環境	□ 2. エネルギー	■ 3. 防災	□ 4. 生物多様性
□ 5. 気候変動	□ 6. 国際理解、文化多様性	■ 7. 地域の伝統文化、文化遺産	□ 8. 人権・平和
■ 9. 健康・福祉	■ 10. 食育	□ 11. 持続可能な生産と消費	□ 12. 貧困
□ 13. エコパーク	□ 14. ジオパーク	□ 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
□ 16. ジェンダー平等	□ 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

杉山グリーンウォークは年間行事として毎年行われている。卒業するまでに杉山校区全体を回ることができるよう考えられている。校区全体を知ることによって、自分の住む地域への愛着を深め、将来、地域貢献していくことができるよう考えている。地域の方々の協力のもと毎年工夫され子どもや保護者など校区一体となって活動している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

杉山グリーンウォークについては、準備段階から校区と合同ではない会う機会を設けたり、実施後に反省会意を行ったりして次年度に活かしている。ほかの学校での ESD 活動については年度末に今年度の反省行い、来年度の実施について継続するか否かについてふりかえっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

職員会議で話し合い、学校評議員の方からご意見を伺い、次年度の活動に活かしている。グリーンウォークの探索ルートの検討や内容がマンネリ化しないようにしていくことが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

4年生の総合的な学習の時間で地域のゴミ問題について学習した。その内容を生かし、グリーンウォークの開会式において、児童が保護者や地域の方にゴミ拾いについて呼びかけたり、看板設置の目的などを話したりした。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

なし

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

なし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

平成 29 年度から引き続き、地域との交流を深め、地域の防災や環境を学ぶとともに、地域の伝統文化を引き継ぐ活動を行っていきたい。また、校区と合同の行事を中心に、普段の学校教育の中でも自然環境や地域交流を意識して学習を進めていきたい。